

「ユーロ」アレルギー困ります

ノルトワイク（オラン

ダ）5日水野雅夫）一九九九年一月からスタートする欧州通貨統合で、統一通貨

欧州統一通貨

「ユーロ」の硬貨の材質をめぐって論議が巻き起こっている。硬貨に使われるニッケルがアレルギーの原因として、ニッケルに反対す

ニッケルに反対 材質めぐり論議

る意見がスウェーデンなど北欧諸国から出されているためだ。

五日にノルトワイクで始まったEU蔵相理事会で硬貨のデザインや材質を検討する予定だが、スウェーデンによると欧州では、イヤリングなど装飾品に含まれるニッケルのため、若い女性の二〇%がアレルギーにかかっているという。

『角立たぬ』デザインも模索

しかし、ニッケルはさびにくいいため、多くの欧州連合（EU）加盟国で硬貨に使用。統合後、各国の硬貨を溶解し、新しい統一通貨を作る場合、ニッケルを取り除くのは難しいという。

また、目の不自由な人の団体からは硬貨の区別をしやすいうよう多角形にするよう求められており、こうした要求をつまぐ取り入れ「角を立てず」、各国を納得させるため、理事会は頭を痛めそうだ。